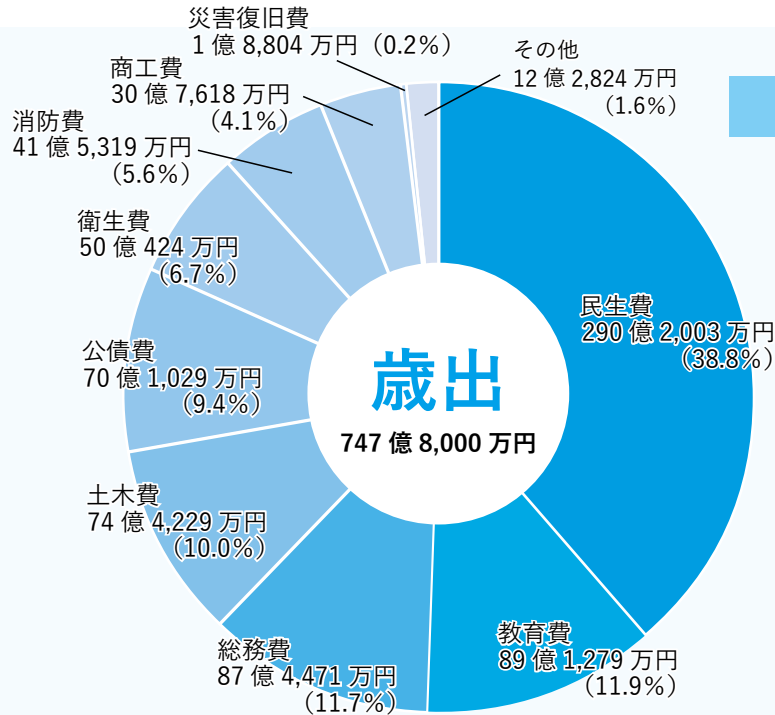




# 令和6年度当初予算の概要

問合せ 財政課 ☎ 内線 265



## 一般会計の歳出

### 【市民1人当たりの金額 (年額)】

目的	年額
民生費	子ども福祉、高齢者福祉、障害者福祉など 176,373 円
教育費	学校教育や生涯学習など 54,169 円
総務費	戸籍管理、防災対策、防犯、文化振興など 53,147 円
土木費	道路、河川、公園整備など 45,231 円
公債費	借入金の返済など 42,606 円
衛生費	健康づくりやごみ処理など 30,414 円
消防費	消防や救急など 25,241 円
商工費	商工業や観光の振興など 18,696 円
災害復旧費	台風13号の台風被害に係る災害復旧など 1,143 円
その他	議会や農林水産業の振興、労働福祉など 7,465 円
市民1人当たりの総額 (令和6年4月1日現在人口 164,538人)	
	454,485 円

\* ( ) は、全体に占める割合

## 歳出(支出)の状況

歳出は、行政目的ごとに経費を大別しています。

今年度は、昨年9月の台風第13号による大雨被害を教訓として、十分な検証作業を実施し、災害復旧・防災対策に関連する予算を最優先するとともに、引き続き市民生活を守り、地域経済活動の回復を目指していくため、必要な対策を適切に講じていきます。

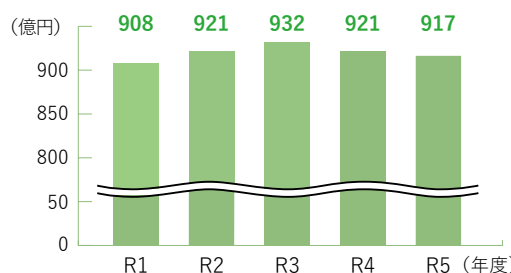
また、5年の計画期間の中間年度を迎える前期基本計画に基づき、「安全・安心のまちづくり」、「地方創生・人口減少対策」、「都市力の向上」、「持続可能なまちづくり」をはじめ、「デジタル化の推進」や「脱炭素社会の実現」など、幅広い分野の事業を総合的に進めながら、計画に位置付けた各種施策の着実な進捗を図ります。

さらに、「運動公園野球場再整備事業」や「北部消防署庁舎整備事業」などの大型事業の実施に伴い、令和6年度の一般会計予算は、前年度に比べ23億6000万円(3.3%)増の747億8000万円となっています。

行政目的別に見ると、子ども福祉や高齢者福祉など福祉全般に関わる経費である民生費が38.8%と最も大きな割合を占めており、次いで教育費の11.9%、総務費の11.7%となっています。

また、今年度に使われる市民一人当たりの予算は、右上表のように約45万4485円となる見込みです。

## 【過去5年間の市債残高の推移】



\* 令和5年度末の市債(借入金)の残高見込み額は、一般会計は約620億円、特別会計は約297億円、全会計合計で約917億円となり、令和4年度末に比べ約4億円減少する見込みです。

予算の詳しい内容は「財政事情書」でご覧いただけます。財政事情書は、市HP、市役所1階情報センター、各図書館・支所でご覧ください。

